



2019年10月31日

各 位

会 社 名 ニッポン高度紙工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 俊則  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 9 1 )  
問 合 せ 先 取締役 執行役員経営企画室長 溝淵 泰司  
T E L 0 8 8 ( 8 9 4 ) 2 3 2 1

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表した2020年3月期 通期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2020年3月期 通期 (2019年4月1日～2020年3月31日) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,700	1,700	1,700	1,300	120.86
今回修正予想 (B)	12,800	850	850	650	60.43
増減額 (B-A)	△1,900	△850	△850	△650	
増減率 (%)	△12.9	△50.0	△50.0	△50.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	14,373	1,346	1,313	1,495	139.00

#### 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におけるエレクトロニクス業界は、昨年の秋口から減速した市況に回復の兆しがみられない状況で推移しました。

このような状況ではありますが、省エネ型車両での採用が増えた車載向け大型リチウムイオン電池用の需要拡大などにより、電池用セパレータは、ほぼ計画通りで推移しました。一方、当社主力製品であるコンデンサ用セパレータにおきましては、自動車の電子化進展による部品搭載点数の増加はあるもののグローバルでの生産台数減少、設備投資の先送りにもなる工作機械などの需要減もあり、市況の回復が当初想定よりも遅れております。

このため、前回予想の売上高・利益を下回る見込みとなりましたので、2019年5月14日に公表しました2020年3月期 (2019年4月1日～2020年3月31日) の通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上